

No. 397【2020年3月6日配信】

矢田前駅と小柳駅の誕生 (担当:村上)

こんにちは。嘱託員の村上です。

2月14日に青森朝日放送で放送された「スーパーJチャンネルABA」内のコーナー「ぶらり！民鉄の旅」で青い森鉄道の矢田前駅が紹介されました。そこで、今回は矢田前駅とその隣にある小柳駅についてお話ししたいと思います。

矢田前駅と小柳駅は当時の国鉄東北本線の駅として昭和61年(1986)11月1日に開業しました。この2つの駅が設置された背景には、鉄道を通勤・通学・買い物などの足として多くの市民に利用してもらうことにより、市内の交通渋滞を緩和させるというねらいがありました。

昭和43年、東北本線野内ー青森間の線路がそれまでの線路の南方(現在の青い森鉄道線の位置)へ移設されると、新しい線路の周辺に次々と住宅地が造成されました。この住宅地の急速な拡大に対して道路整備が追いつかず、市の郊外から中心部へ向かう道路では渋滞が発生するようになりました。しかし、新しく造成された住宅地は既存の駅(青森駅・東青森駅・野内駅・浅虫駅〈現浅虫温泉駅〉)から離れており、住民が移動に鉄道を利用することは難しい状況にありました。

こうした状況を受け、市は昭和57年8月、盛岡鉄道管理局に対して通勤・通学・買い物列車の運行と新駅の設置を陳情しました。盛岡鉄道管理局と市が協議を行った結果、昭和61年11月のダイヤ改正に合わせて矢田前駅と小柳駅を請願駅(建設費などを地元が負担して設置する駅)として整備する方針が決められました。

さらに、昭和61年2月17日には青森商工会議所などが中心となって「東北本線青森地区新駅設置期成同盟会」を設立し、募金により建設費の一部を集めることになりました。そして、市と同盟会が建設費を負担して2つの駅が建設されたのです。



矢田前駅
(1986年 広報広聴課蔵)



小柳駅
(1986年 広報広聴課蔵)

昭和 61 年 11 月のダイヤ改正では 2 つの駅が開業したほか、地元の働きかけにより浅虫駅が浅虫温泉駅と改称されました。青森－浅虫温泉間には通勤・通学・買い物に便利な時間帯に合わせて普通列車 6 往復が増発され、計 16 往復が運行されるようになりました。増発された普通列車には公募により「うとう号」という愛称もつけられました。



駅名改称記念式典のようす
(1986 年 広報広聴課蔵)



駅名改称記念式典のようす
(1986 年 広報広聴課蔵)

こうして誕生した矢田前駅と小柳駅は現在も多くの市民に利用されています。

※今回の内容は『広報あおもり』昭和 61 年 11 月 1 日号、『東奥日報』昭和 61 年 11 月 1 日付などを参考にしました。なお、「ぶらり！民鉄の旅」の過去の放送は青森朝日放送のホームページから視聴することができます。